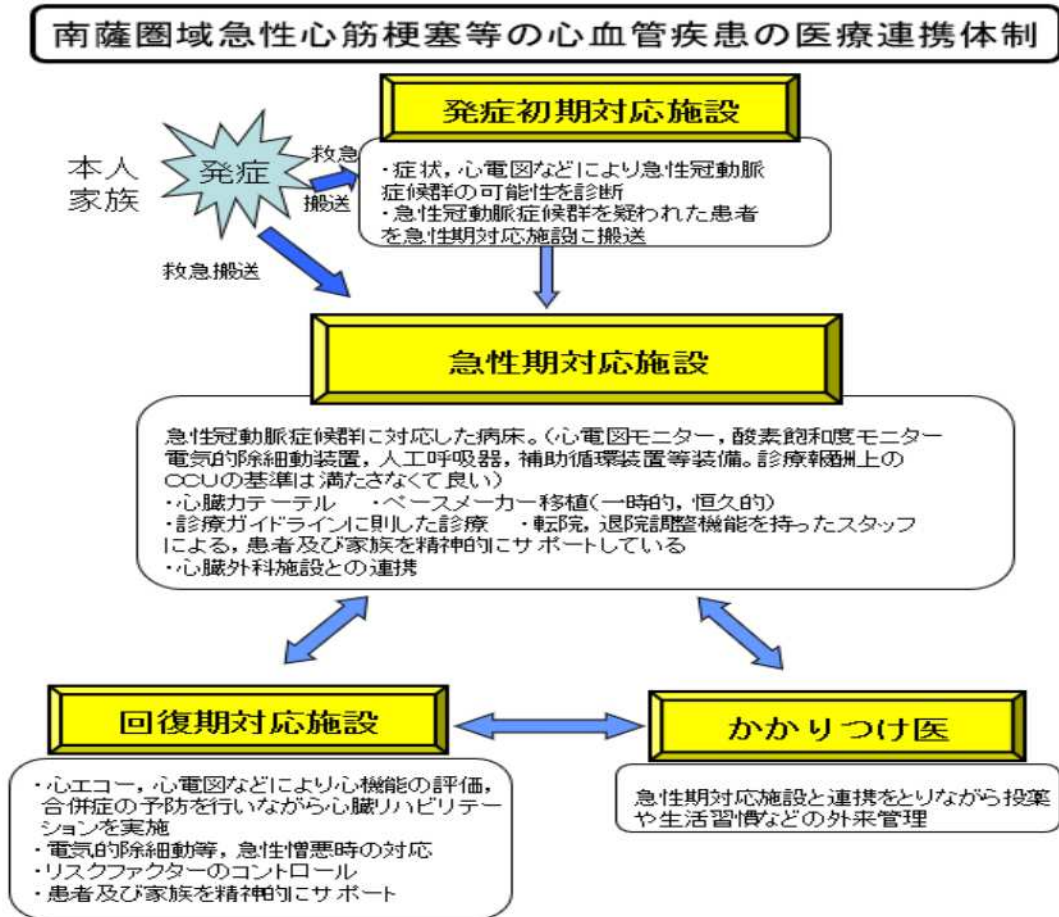


【図表資-5-53】南薩保健医療圏 心筋梗塞等の心血管疾患の医療連携体制図



[南薩地域振興局作成]

【図表資-5-54】南薩保健医療圏 心筋梗塞等の心血管疾患の医療機能基準

【発症初期対応施設】

- ・症状、心電図などにより急性冠動脈症候群の可能性を診断できる
- ・急性冠動脈症候群を疑われた患者を急性期対応施設に搬送できる

【急性期対応施設】

- ・急性冠動脈症候群に対応した病床を持っている。(心電図モニター、酸素飽和度モニター、電気的除細動装置、人工呼吸器、補助循環器装置などを装備する。ただし、診療報酬上のCCUの基準は満たさなくとも良い)
- ・心臓カテーテルができる
- ・ペースメーカー移植(一時的、恒久的)ができる
- ・診療ガイドラインに則した診療を実施している
- ・転院・退院調整機能を持ったスタッフがおり、転院・退院に際し、患者及び家族の精神的サポートしている(専任の必要はない)
- ・必要により心臓外科施設と連携がとれている

【回復期対応施設】

- ・心エコー、心電図などにより心機能の評価、合併症の予防を行いながら心臓リハビリテーションができる。(必ずしも、診療報酬上の心大血管疾患リハビリテーション基準は満たさなくとも良い)
- ・電気的除細動等、急性憎悪時の対応ができる
- ・リスクファクターのコントロールが行える
- ・患者及び家族を精神的にサポートできるスタッフがいる(専任の必要はない)

【かかりつけ医】

- ・急性期対応施設等と連携をとりながら日常の投薬や生活習慣などの外来管理ができる

[南薩地域振興局作成]